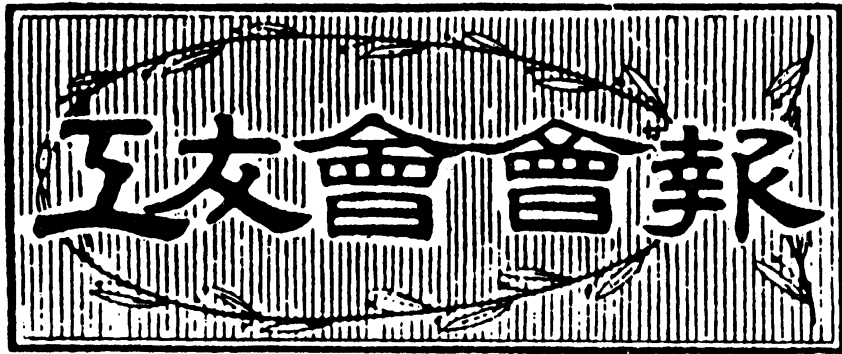


工友会会報



発行所  
岡山県立岡山工業高等学校  
工友会  
岡山市伊福町4丁目3番92号  
編集責任者:佐藤 弘典  
今井 真人  
印刷所:旭総合印刷

ご意見、情報はこちらまで  
TEL 086-252-5231  
FAX 086-252-7130  
http://www.okako.com/  
ホームページ担当:今井  
(昭58年子卒)

ごあいさつ

工友会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、平成十六年度工友会総会におきまして会長を仰せつかりました昭和二十九年土木科卒業の山本でございます。

母校は県下で最初の工業高校として創立され、一〇三年の歴史があり、二万六千余名の卒業生を輩出し、各界のリーダーとして活躍されている多くの工友がおられる中で、非才の私にはきわめて重責であります。工友皆様方のご支援、ご協力を頂き務めてまいる所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

萩原 明前会長には、昭和五十九年ご就任以来二十年間の長期にわたり、工友会はもとより母校発展のため多大のご尽力をいただきました。その間、母校創立九十周年事業として工友会館



工友会会長  
山本 鴻  
(昭和29年 土木科卒)

の改修工事、一〇〇周年では記念会館建設などの大事業に取り組みいただいたところでございます。

私どもは、このようなご苦労に対し心から敬意を表し感謝申し上げます。今後は顧問として引き続きご支援ご指導頂くことといたしておりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成十六年は明・暗ともいろいろの出来事がありました。まずは天皇家長女紀宮さまの婚約が内定し年末には正式発表、春にも挙式の運びという明るい話題が提供されました。地震・台風・災害・凶悪犯罪など暗い世相の中人々の気持が少しでも明るくなればと期待するものでございます。お喜び申し上げ、末長いご多幸をお祈りするものでございます。

国内景気も好調な輸出や設備

投資などにより一昨年より拡大局面が続いており、平成十六年も中国向けの特需や、東京大会を上廻る史上最多のメダルを獲得したアテネ五輪などの追い風を受け回復基調は続いており工友の皆様方も頑張っておられることと拝察いたしております。しかしながら高どまりで推移する原油価格や、円高が進む為替市場、世界経済の動向、増税指向など先行き不透明感も増しており油断は禁物かと存じます。更なる頑張りを念ずるものでございます。

十一月二十一日、嬉しいニュースがございました。母校ラグビー部の全国大会出場でございます。昨年はくじ運に見放され悔しい思いをいたしました。今年はその悔しさを忘れることなく一年間鍛練を重ねた成果であります。「あっぱれ岡工ラガー」、花園での活躍を期待するものでございます。

平成十六年度の工友会総会は去る七月十一日三井造船株式会社玉野支部のお世話で、岡山ブラザホテルで開催されました。予算・決算の承認と役員改選では、会長交替と新たに副会長として、機械科昭三十四年卒の崎坂敏正さん、デザイン科昭三十

七年卒の舟越昭子さん、電子科昭三十七年卒の地頭代紘史さん、三氏の新任をご承認いただきました。これにより副会長は各科より選出され八名となり充実して頂いたところでございます。

また、平成十五年秋の叙勲で受賞されました四名の方にお祝いの記念品を工友会より贈呈させていただきますところでございます。今後ますますのご活躍を祈念するものでございます。

総会後の懇親会では初めての試みとして支部の紹介を企画していただき、岡山県庁支部さくら会の活動状況を青江邦男支部長(昭四十年土卒)よりご報告いただきました。ご準備いただきました三井造船玉野支部の田淵隆(昭四十一電卒)支部長はじめ支部工友の方々に厚くお礼申し上げます。

平成十七年度総会は、株式会社大本組支部(支部長、森山基司 昭四十二年土卒)のお世話で七月に開催する予定でございます。多数の工友のご参加をお待ちいたしております。

最後に工友皆様のご健勝とご多幸、母校の発展をお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

# ご挨拶



学校長 宇佐見 一郎

工友会会員の皆様方には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素から母校教育の充実、発展のために物心両面にわたり一方ならぬご理解とご支援を賜っており誠に有難うございます。日頃の教育活動が円滑に推進できておりますのも、皆様方の温かいご支援の賜物であると深く感謝いたしております。心から厚くお礼申し上げます。

ところで、今年岡山県では、第六十回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」が四十三年ぶりに県下各地で開催され、開催県としての悲願の天皇杯を獲得して大成功裏に閉幕しました。本校からは、夏季大会のカヌー競技に一名、秋季大会のラグビーに八名、自転車競技に七名、弓道とボクシングに各一名の計十八名の生徒が選手として出場した他、二百名を越す多くの生徒が競

技補助員等で大活躍し、国体の成功に貢献してくれました。誠に喜ばしい限りです。

さて、本誌面を拝借して学校の近況をご報告いたします。生徒たちは、勉学に部活動にと、よく励んでくれており大変嬉しく存じております。

部活動は年々盛んになってきており、体育系・文科系を問わず、多くの部、同好会が熱心に活動し、自転車競技をはじめ陸上競技、ボクシング、ラグビーなどは全国大会出場の常連になっております。

なかでも特筆したいのは、中国地区大会学校対抗の部で目下六連覇中の自転車競技部、そして、岡山県勢として二十年振りに春季中国大会を制覇するとともに全国高校ラグビー大会県予選で見事四年連続八度目の優勝を飾り花園への二年連続出場を果たしたラグビー部です。花園出場に際しましては、大阪支部の岡友会

をはじめ各支部から多大の温かいお励ましを頂き誠に有難うございました。改めて厚くお礼申し上げます。

一方、学習面では今年から三年間の予定で、文部科学省の「IT（情報技術）人材育成プロジェクト」の研究指定校、いわゆるスーパーITハイスクールとしてITに関わる人材育成の実践研究に取り組んでいます。

また、各専門科ともそれぞれの特長を活かした幅の広い取り組みをして大きな成果を上げています。メカトロニクス技術などを駆使して競技する県内外の各種大会において優秀な成績を収め、岡工の技術力の高さを示す活躍をしてきています。

このように、生徒は勉学だけでなく、部活動などの課外活動との両立を目指して頑張ってくれており、誠に頼もしい限りです。学校全体に活気が漲っております。

お近くにお越しの際は、是非一度お立ち寄りくださいまして、学校の様子をご覧いただければ幸いです。後輩たちにお励ましの声でも掛けてやっていただければ誠

に有難く存じます。

教職員一同は、創立百四年目を迎えた本校教育の更なる充実、発展を図り、二十一世紀の我が国の基盤を支える有為な人材育成という使命を果たすべく邁進しております。今後とも、皆様方の温かいご

理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、工友会の益々のご発展及び会員各位の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

## 平成十八年度工友会総会 多くの方の参加を！

中国電力株式会社岡山支店支部 支部長

金光 昌一（昭和五十年電気科卒）

工友会会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび平成十八年度工友会総会の担当支部となりました。まずは、総会の担当の大役をおおせつかりありがとうございました。存じます。

今まで私どもの支部においては総会のお世話の経験がなく、このたびの運びとなったわけですが、なにごともお借りしながら努めさせていただきます。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、岡山県立岡山工業高等学校は歴史も古く創立以来

多くの人材を社会に送り出しています。各界・多方面において活躍され、著名な方が卒業生であるとお聞きすることもしばしばです。実際、私自身も仕事の関係、地域行事やその他いろいろな生活の場面で、卒業生であるとお聞きし、

お互い当時の様子はどうか、お互いなどの情報交換しなつかしく思い出すことも多くあります。そのよ

うな時は初対面ではあっても親近感を覚え、うれしく感じ何か通じ合うものがあります。工友会支部も五十二支部となり、それぞれの支部におかれましてもますますご清栄の



平成16年度 工友会総会

# 総会を終えて

三井造船玉野支部支部長  
田淵 隆  
(昭和41年電気科卒)

工友会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成十六年度の工友会総会を当支部で担当させて頂き、平成十六年七月十一日(日)岡山プラザホテルにおいて、皆様のご協力の中盛大に開催することができました。八年ぶりの総会担当の大役を引受けた後、出席者集めに苦勞した前回の経験に加え、若い支部員から先輩諸氏までの幅広い意見要望を取り入れて準備を進めて参りました。

当日は、あいにく参議院議員選挙投票日と重なり何かと多忙な中でしたが、準備の甲斐あり昭和十六年卒の大先輩から平成十五年卒のフレッシュな新会員まで二百四十名のご出

席を頂き一同安堵した次第です。総会は萩原前会長・宇佐見学長のご挨拶で始まり、議事に入り平成十五年度事業・決算・監査・役員改選・平成十六年事業計画・予算・その他審議を頂き滞りなく終えることができました。

役員改選では萩原前会長が退任され顧問に就任。新会長に山本副会長の就任が決まり、新たに三名の副会長の就任が決まりました。萩原前会長におかれましては二十年の長きにわたり、工友会及び母校の発展にご尽力頂き誠に有難うございました。退任された萩原前会長の功績に対し全会員から感謝の気持ちを込め花束と記念品の贈呈が行われました。

引き続き事務局から叙勲受章者五名の紹介があり、当日出席された、中原一郎様(機十六卒)那須基男様(木二十六年卒)に山本会長よりお祝いの贈呈が行われました。工友会としての榮譽に対し誇りに思う次第です。本当におめでとうござい

ます。総会后、同じ会場で懇親会に移り、開会宣言・鏡開き・乾杯・母校及び県庁支部の紹介・母校

百周年記念DVD映像の披露・交流タイム(名刺交換)等新たなる試みを行うに連れて、あちらこちらに談笑の輪が広がり、時を忘れて懇親旧交を深めていただけたものと思っております。最後は全員が一同に会し記念撮影を行い宴を終了しました。今後もこの伝統ある総会へ一人でも多くの工友会員が集まり益々盛大になる事を心より願っております。

最後になりましたが総会に際しましてご協力頂きました諸先生、諸先輩、またご多忙中にもかかわらず遠路お越しを頂きました工友会会員の皆様に心より感謝申し上げます。皆様の益々のご健勝、ご多幸、そして工友会の発展を祈念しお礼の挨拶とさせていただきます。

平成17年度

## 工友会総会

平成17年7月10日(日)  
10時より

総会担当

株式会社大本組支部  
支部長 森山 基司

会場 岡山プラザホテル  
電話 086-272-1201



## 退任のごあいさつ

工友会会長  
萩原 明

（昭和十七年土木科卒）

私は平成十六年七月十一日（日）、岡山プラザホテルで開催されました工友会総会に於いて、十回目の二年任期満了をもって、工友会会長の職を退任いたしました。

昨年までに、百周年の記念行事がすべて終わったこと、今年で会長就任以来二十年の節目の年を迎えたこと、そして、高齢になった我が身を考え、世

創立記念式典にて工友会会長として『日本の技術』と題した最後の講演をされた。  
（平成十六年十月八日 岡山工業高校体育館にて）

交代替をお願い申し上げたものでございます。

二十年間、無事会長職を務めることができたことを嬉しく思いますとともにお世話下さった校長始め先生方、ご支援頂いた副会長の皆さん、そして、ご協力下さった数多工友の方々、心より感謝、お礼を申し上げます。有り難うございました。私が会長に就任しましたの

は、昭和五十九年七月の総会で、七代前の和田道男校長の時でございます。以来二十年の歳月が経過しました。この間、生徒数は一二〇〇名から、一〇〇〇名に減少し、工友会員は一八〇〇〇名から二六〇〇〇名に増えました。

二十年の活動の中で、記憶に残るのは平成十三年（二〇〇二）の百周年記念でございます。不況の中でどうなるかと心配しましたが、皆様のお力添えにより、行事並びに記念館の完成をみました。工友会長として、係わることができたことを誇りに思います。有り難うございました。

最後に、学校の繁栄と、工友会の弥栄、工友皆様のご健勝を祈念し、退任の挨拶といたします。

講演後、代表生徒より感謝の言葉と花束を贈られ、全校生徒の温かい拍手でステージを降りられた。



## 萩原 明前会長 慰労会

事務局長 佐藤 弘典

（昭和五十一年機械科卒）

工友会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。  
平素より、工友会の活動に多大のご支援とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

平成十六年度工友会総会の

役員改選において、萩原前会長がご勇退されました。二十年の

長きにわたりご尽力をいただきました。また、アークホテル岡山にて慰労会を開催いたしましたところ、工友会役員・理事の方々をはじめ各支部長

様並びに学校関係者の方々に多数ご参加をいただきました。

会に先がけて記念撮影を行いました。山本会長・宇佐見学校長のご挨拶で慰労会が始めました。

また女性支部あじさい会を代表して鳥越副会長より、感謝とお礼の意を込めての花束の贈呈がありました。

続いて萩原前会長より、会長就任のいきさつから退任され

るまでのお話をいただき、工友会はもとより、母校に対する萩原前会長のお気持ちに手に取るように分かり、改めて工友会・母校発展のため多大なるご尽力をいただいたことに感謝申し上げます。

高原副会長の首頭で、萩原前会長に対するご苦勞に感謝し乾杯。その後、歓談・交流に移り武市俊男顧問、和田道男先生より思い出話をしていただきました。また、アトラクションとして岡山県が誇る、ちくわ笛演奏家の「住宅正人」様に素晴らしいちくわ笛の演奏と民謡を披露していただきこの会を一層盛り上げていただきました。

最後に、萩原 明前会長の益々のご清祥と工友会・岡工の発展、皆様方の益々のご健勝を祈念いたしました。地頭代副会長の指揮による校歌斉唱と、鏡原進顧問の先導による三本締めを全員で行い、この会を閉会しました。



# 新役員の ごあいさつ

副会長

崎坂 敏正

(昭和三十四年機械科卒)



挙を賜り、就任いたさせていた  
だきました。このことは私にと  
りまして誠に光栄なことであ  
り誠に微力ではございますが  
誠心誠意、各位のご指導をいた  
だきながら、勤めさせて頂いた  
く所存でございますので、ご指  
導の程よろしくお願い申し上  
げます。

現今の官、政、産に於ける目  
に余る惨状、謂われる所の、コ  
ンプライアンス(法令遵守)ア  
カウンタビリティ(説明責任)  
の欠如からくる道徳心の崩壊  
には、唾然といたします。そこ  
でまたそれらに対処するため  
に横文字のソリューション(問  
題解決なるもの)を持ち出し右  
往左往の状況であります。

工友会会員の皆様におかれ  
ましては、益々ご健勝にてご活  
躍のことと、衷心よりお慶び申  
し上げます。

私は、去る平成十六年七月十  
一日に開催されました工友会  
総会におきまして、多くの諸先  
輩の方々がいらつしやるにも  
拘わらず、図らずも副会長に推

無事先輩の方々のお陰で乗り  
越えてまいりました。

今後の我々の役目は、この光  
輝ある伝統を新しい世代に受  
け継いでいくことだと確信を  
いたしております。そのために  
も、老・壮・青一堂に集う工友会  
総会は格好の伝統、伝承の場と  
考えております。しかし最近と  
みに若い卒業生の出席が少な  
い様に見受けられます。向後は  
是非とも、若者も大勢参加いた  
だけの会にしたいものです。

次の一〇〇年に向かい、新し  
い歴史を「温故知新」のなかで  
築き上げていただきたいと切  
望し、また母校の悠久の発展を  
祈念しつつ工友の皆様方のご  
支援ご協力をお願い申し上げ  
まして、副会長就任のご挨拶と  
いたします。

副会長

舟越 昭子

(昭和三十七年工友科卒)

岡山工業高校工友会の皆様  
にはご健勝で、各界でのご活躍、  
心からお喜び申し上げます。

私は、去る平成十六年七月十  
一日の工友会総会におきまし

て、工友会副会長にご推薦いた  
だきました。工友会出席が三、  
四年前からという実績かな  
い私にこの様な大役が務まる  
か、と戸惑うばかりでしたが、  
「あじさい会」の大先輩から「お  
手伝いしたら！」との後押し。  
重責に身の引き締まる思いが  
致しますが、諸先輩のお手伝い  
をさせて頂いた大きなお力強  
し、何かお役に立てればと、お  
引受けさせて頂いたできました。

卒業後、現在までずっと岡山  
で仕事をしてまいりましたが、  
私にとつての岡工は、誠実勤勉  
たゆみなく、そしてそれを支  
える強靱な気力と体力を培っ  
てくれた三年間でした。日頃、  
新聞等で在校生の運動部、文化  
部の活躍を見つけ(この度は岡  
工ラグビー部の県大会優勝、全  
国ラグビー大会出場おめでとう  
ございます)心からの声援を  
送りながらも学校との接点は  
少なかったのですが、仕事上各  
分野で活躍されいる優秀な先  
輩、頼もしい後輩たちに支えて  
いただいたおかげで充実した  
仕事をさせて頂いたのだと感  
謝いたしております。

母校の益々の発展と若い力

となる今後の卒業生のために、  
私自身何ができるのか問う所  
ではございますが、お役に立て  
るよう努力する所存でござい  
ます。工友会の皆様のご支援  
とご協力をお願い申し上げ、副  
会長就任のご挨拶とさせてい  
たできます。

副会長

地頭代 紘史

(昭和三十七年電子科卒)



工友会会員の皆様には益々  
ご健勝でご活躍のこととお喜  
び申し上げます。

私は、平成十六年度の工友会  
総会におきまして先輩諸兄を  
差しおいて図らずも副会長に  
指名を受け、身に余る光栄と  
もに責任の重さを痛感致して  
おります。

昭和三十四年に新設の電気  
通信科に入学、三十七年三月に  
電子科一期生として卒業し、通  
信機メーカー研究所に勤務し  
ました。国産コンピュータが次々

ICさらにLSIへと成長を続ける非常にやりがいのあるおもしろい時代でした。昭和四十七年から岡工に勤務することになり途中夜間の市立岡工に勤務の後、再度母校に勤務することが出来ました。

平成七年度から十四年度まで工友会事務局長として皆様に変なご理解とご協力を頂きました。萩原前会長をはじめ先輩の温かいご指導を頂きながら様々な場所で多くの会員の皆様とお会いでき貴重な体験をさせていただきました。全く経験のないまま事務局長をお引き受けし何かとご迷惑をおかけしましたことを今でも誠に申し訳なく思っています。

平成十三年には創立百周年を迎え、日本経済の一番厳しい時期にも拘わらず萩原前会長の大変なご尽力と会員皆様の絶大なるご支援・ご協力を頂き記念事業が完遂出来たことに岡工工友会の底力を感じました。

二十一年間に亘って多大のご功績を上げられた萩原前会長に心より感謝申し上げ今後



り、スポーツやものづくりに度々新聞紙上を飾っております。

新たな百年を踏み出した岡工。これからも母校並びに工友会の発展のために多くの会員が参画されご支援ご協力を頂きますようお願いいたします。

ご支援をお願いする次第です。さて、高等学校は進行する少子化のため再編・統合の波に直面しています。岡工も七科の内機械科だけが二クラスを存続している状況ですが各科とも魅力ある科、特色のある科を指して日夜努力を重ねており、岡工志願の中学生が多い状況が続いています。後輩たちは勉強に部活動によく頑張っております。

今後母校岡工と工友会が益々発展することを祈念し、山本新会長の下で微力ながら副会長として働く覚悟でおります。なにとぞよろしくお願い致します。

ご支援をお願いする次第です。さて、高等学校は進行する少子化のため再編・統合の波に直面しています。岡工も七科の内機械科だけが二クラスを存続している状況ですが各科とも魅力ある科、特色のある科を指して日夜努力を重ねており、岡工志願の中学生が多い状況が続いています。後輩たちは勉強に部活動によく頑張っております。

今後母校岡工と工友会が益々発展することを祈念し、山本新会長の下で微力ながら副会長として働く覚悟でおります。なにとぞよろしくお願い致します。

平成十七年度工友会総会  
担当支部として

株式会社大本組支部支部長

森山 基司  
(昭和四十三年土木科卒)

工友会の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

生されました。工友会の新たなスタートが切られたと感じております。

この度、平成十七年度工友会総会のお世話を株式会社大本組支部が担当させていただきましたことになりました。私ども大本組支部が前回担当させていただきましたいただきましたのは、平成七年度で早十年が過ぎようとしています。現在大本組支部は四十九名の会員を数えます。業種柄、会員の多くは全国に散在しておりますが、お世話させて頂くことが可能なメンバーが一丸となつて、会員皆様方のご指導ご協力を頂きながら取組んでまいりたいと決意を新たにしているところであります。

大本組支部も工友会の発展のために微力ながらお手伝いをさせて頂いたたく運びとなりました。私ども大本組支部としては「幅広い世代の交流場所の提供」をコンセプトとして総会準備委員会を組織し、皆様方に満足していただけるよう準備を進めていたところでもあります。若い方、女性の方、そして定連の方々等、各支部多数のご参加のもとに総会の成功と工友会の発展を望む所存であります。

さて、節目の母校創立百周年事業、行事等も終わり、本年度の役員改選におきましては、新たに山本鴻工友会会長が誕

お待ちしております。

祝 栄 誉

旭日小 綾章  
三宅 丈夫 (昭二十八年工業化学科卒業)  
旭日双光章  
市川 加二 (昭二十八年土木科卒業)



### 【関東支部】

関東支部 事務長  
池口 健児  
(昭和34年機械科卒)

工友会の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。関東支部は平成十六年度の総会を昨年四月十八日に東京駅丸ノ内北口「みかど」二階宴会場において、本部より萩原前会長、母校より宇佐見校長・佐藤事務局長のご来賓を仰ぎ、女性会員一名を含む会員三十六名が出席して開催致しました。

総会は、池口事務長(機三十卒)の司会により、前記来賓のご挨拶、板野会長(土二十六卒)の挨拶を兼ねたお祝い授与(元支部長・現顧問の中原一郎氏が十五年秋の瑞宝章授賞に際して)、引き続き中原一郎氏の授賞講演をご拝聴しまして始まりました。

事務担当として会務・会計報告を豊原会計監事(土五十六卒)より、会計監査報告を小池会計



帰りました。今年は新卒上京者二名(情平十六卒山本・葉師神の兩名を特に紹介)が出席してくれました。また、小池二郎氏(機三十四卒)日立市在住も初めて出席されました。それぞれの現況を語り会食とあわせて盛りあげました。

当日の参加者の内訳は、昭和十年の大先輩から平成十六年卒業まで幅広く、機十五名・土九名化八名・建一名・情二名・電一名計三十六名で昨年と同数。年々減少の状況ながら事務局としては喜んでい

監事(化二十九卒)より、池口事務長より十七年度予算案について説明し満場一致にて承認され、関東支部の校章旗をバツクに記念撮影をもって会議の部を終了しました。

引き続き、懇親会に入り、最も先輩の守屋得一氏(機十卒)のご発声による乾杯から始まり、来賓ご三方のご挨拶に母校や郷里の現況を懐かしく昔に

年一回発行の支部の会報には諸先輩の随筆・訃報や転勤・転居などの会員状況、会務報告と会計報告表などを掲載し、本部報告と同封で会員に配布しています。戦前から続いている伝統ある関東支部の活性化を

はかり「会員相互の親睦をはかる」をモットーに支部活動をしていきますので、ご支援の程お願い申し上げます。

事務局を担当致しまして常々思うことですが、ご高齢の先輩の訃報をお受けするときは誠に悲しみに耐えられません。特にこの度、現会計監事(元副会長の小池皓之氏、化二十九卒)がご逝去されました。少し早いのはと心が痛みました。謹んでお悔やみ申し上げます。また、本

### 【大阪支部】 (岡友会)

高橋 紀二  
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成十五年度第二十四回岡友会(工友会大阪支部)総会が十月二十三日(土)十二時より恒例の場所になっています大阪京橋の扶桑会館で開催されました。

今年には台風の来襲が頻繁な

田省吾氏(機三卒)は九十四歳に関わらず毎年お便りを頂いており、お元気のご様子です。

関東地方に就職または入学されます方は、四月十七日(日)(場所後報)で総会を開催致します。皆さんのご出席を心からお待ちしています。

【連絡先】〒二五四〇八〇七 平塚市代官町八一六四〇二 池口 健児(機三十四卒) TEL・FAX 〇四六三二二四二四八七

こと、また日程が秋の行楽時期と重なり心配致しましたが、会員諸氏のご協力で約五十名強の方がご参集され、久しぶりの再会で総会前のひと時を楽しみました。

総会前に幹事会が開催され、一年間の業務報告とその反省、次年度の取り組み事項、会計報告、会計監査、役員改選等が話し合われました。

特に、会長・副会長職については黒田会長・山崎副会長より体調・年齢的な点もあり退任したい旨の言葉があり、「新体制を考えたらどうか」との意見から新会長には今まで事務局長の為房氏、副会長に幹事の箸氏と会計監査の藤田氏、事務局に

会計の高橋、会計監査に幹事の遠藤氏、新幹事に采田・二宮氏の推薦案が出されました。なお、退任される会長は顧問、副会長は幹事として今後も岡友会の運営にあたること、また、野田・東原幹事の退任の申出を了承、その他の取り組み事項については例年どおりの内容が確認されました。

総会には、本部工友会で七月総会にて長い間ご指導を頂いた萩原会長が勇退されたこともあり、ご多忙の中ご来賓として工友会本部山本新会長、川上教頭、佐藤工友会事務局長の先任方にご出席を頂きました。

総会は黒田岡友会会長（化学科昭和二十年卒）より、「母校創立八十周年を機に昭和五十六年岡友会は再発足致しました。この間、工友会本部、母校のご指導、在阪会員の協力で第二十四回総会が迎えられたこと。また、母校一〇〇周年の記念会館建設事業が全て終了したと。会員諸兄弟の多大なご協力に心より感謝したい。なお、長くご協力を頂いたが体調・年齢的なことも有り、またサポートして頂いた副会長の三氏（長岡・山崎・井上氏）も同様理由から会長・副会長職を辞退致した

い、後ほど幹事会案が発表されるので、ご了解を願う」と挨拶されました。

山本会長からは、「萩原前会長と共に母校一〇〇周年の記念会館建設事業に関わり、募金、土地、会館建設、お披露目と一連の催しは無事に終了致しました。改めて工友会の大きな仕事であったと感じています。偏に卒業生二万五千人強を送り出し、現在一万八千名が活躍中で岡山には八十五%の会員がおられ、関東、関西、広島等全国五十四支部で構成されており『伝統が誇れる』ものと考えています。そして岡友会が大阪近郷の在阪支部として、今後も益々発展されることを期待する」とのご挨拶を頂きました。

川上教頭先生より、「宇佐見校長先生は県内の校長会の公務で出席できませんが、記念会館が完成し、利用する学生諸君が大変感謝している」との話があり、「先生方は九十五名の陣容で学習活動は当然として、部活動も活発に行われて好成绩を納めている

ます。進学・就職に関する点では、特に就職面は経済環境を反映して厳しい面がある」等のご報告を頂きました。

佐藤先生（事務局長より、「本部工友会会報の充実を図る外



記念会館の有効利用、工友のご訪問があれば、いつでも入場できるように段取りいたします。また、工友会名簿（二〇〇四年版）が完成したので、ご希望があれば、ご連絡を願う（@五一〇

〇円）また一〇〇周年の記念誌（@三〇〇〇円）も発行している旨、紹介がありました。その他、「岡工新聞」「平成十六年の岡工学生諸君の活躍の新聞報道（学校長提供）を中心にした小冊子を各員が頂戴いたしました。今後とも、会員諸氏の交流の場としての工友会会報の充実に努めたく、記事があれば、どしどし応募して欲しい」との要請もありました。

議事に入り、為房岡友会事務局長（化学科昭和二十五年卒）より会員の動静、親睦ゴルフ大会開催、総会開催等を含む一年間の動きが報告され、続いて会計収支報告、会計監査報告がなされ、報告内容が承認されました。

役員改選の議題に入り、会長 〓 為房、副会長 〓 箸・藤田、事務局 〓 高橋、会計監査 〓 遠藤、幹事 〓 采田・二宮各氏の（他の幹事諸氏は留任、野田・東原氏の退任）改選案が上程され、承認されました。

引続き、為房新会長より、「思えば現在と異なり東古松・南方校舎と校舎が違えども、『誠実勤勉』を基とした岡工で学んだ者が一同に会することは意義があると考えます。今後も工友

会の在阪支部として、工友会本部・学校のご指導を頂きながら、経済環境は大変厳しい状況ですが在阪会員の連絡・親睦の会として運営していく所存です」と挨拶されました。

会場を移し、三宅大先輩（土木昭和九年卒）の乾杯の音頭で懇親会に入りました。会では還暦を迎えられた会員に“杯”を贈ることになっており、今年も数名の方に為房岡友会新会長（化学科昭和二十五年卒）より贈呈されました。

毎年のことながら、卒業年次科別の違いはありますが同窓のよしみで、ご来賓の山本会長、先生方、女性会員さんを囲みお昼の一時を楽しみ過ぎてしました。

時間も経過しましたが、恒例の校歌斉唱は昭和二十七年を境に「煤煙くらく野に迷い…」組と「東天燃える紅の旭の流れ」組に分れて、意気軒昂に歌いあげ、お互い健康には十分留意して来年の再会を約し散会となりました。

第二十四回岡友会（工友会大阪支部）総会が無事終了したことを支部報告と致します。



### 【広島支部】

広島支部長  
足立 良成  
(昭和29年工業化学科卒)

工友会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平成十六年度の広島支部総会は六月五日に「ホテルセンチュリー」にて開催いたしました。本部から萩原前会長、母校より宇佐見校長・佐藤事務局長の来賓を仰ぎ支部会員十三名が出席いたしました。

総会では、ご来賓の皆様から工友会の活動や母校の近況、連絡等をお聞きし心強く拝聴いたしました。平成十五年度の事業報告・会計報告・監査報告に続いて今年度の事業計画・会計計画が黒崎議長のもと審議、承認されて総会を閉会いたしました。

引き続き懇談会に入り、河原先輩(土十三)の音頭による乾杯から始まり、余興やスピーチを交えて楽しいひととき

きを過し再会を約して解散しました。

支部行事として、新年会を会員十二名で二月六日、暑氣払いを七月三十日会員十三名で実施しました。親睦ゴルフ「岡広会」のコンペでは昨年に続き思藤氏(土三十七)が優勝されました。

また、秋期親睦会を十一月六日から二泊二日で開催いたしましたので紹介いたします。



### 広島支部

#### 阿波鳴門親睦旅行記

三近 秀樹

(昭三十五年建築科卒)

深秋漲る四国路、阿波鳴門に支部会員六名参加してバス旅行を催しました。

好天に恵まれたなか瀬戸大橋の雄大さ美しさは格別でした。目的地である鳴門大塚国際美術館に入館し、世界初の陶板名画美術館の館内には、至宝の西洋名画千余点の原寸大絵画が再現されています。特に、ミケランジェロとラファエロによって描かれた「最後の審判」の壁画と天井画の迫力と美しさに同行者一同、

大変感動いたしました。伊・英・仏・蘭・他の美術館所蔵有名絵画が展示されていて、まるで外国旅行をした気分になりました。



した。

その夜は、徳島駅前に宿泊し、ご当地料理とお酒を飲み、「阿波踊り」の特別指導を得て楽

しい宴となりました。翌朝は、人形浄瑠璃で有名な「阿波十郎兵衛屋敷」に入り「傾城阿波の鳴門」のビデオ鑑賞をした後、第一番札所「霊山寺」にてご祈願をしました。旅行最後の予定地であるドイツ村に行きましたが、ここは第一次世界大戦で敗れたドイツ兵俘虜収容の地で、当時、地元民との交流による、「第九」の演奏と合唱は歴史に残る感動です。

今回の旅行は二日間共に好天に恵まれて名物でもある讃岐うどんに舌鼓を打ち、世界的名画の陶板美術品鑑賞の余韻に浸りつつ無事に帰広し再会を約して散会いたしました。

### 【女性支部】 (あじさいの会)

会長  
鳥越 棊  
(昭和33年工業化学科卒)

工友会会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

女性支部(あじさいの会)は第十六回総会を平成十六年六月十三日に岡山駅前みよしのに於て、工友会より武市顧問、母校より福嶋先生のご臨席を賜わり、会員十七名の出席を得て開催いたしました。

総会では、福嶋先生より資料をお配り頂き、母校の近況

についてのお話を興味深く伺いました。持ち寄った沢山のあじさいの花に囲まれ、平成十五年度の事業報告および会計報告等の議事もスムーズに運び、和やかに総会を終えました。

続いての懇親会では、福嶋先生が岡工百年のビデオを放映して下さい、懐かしさに感激一入でございました。

今回は遠路阪神方面より四

名の会員が出席下さっており、お食事を共にしての懇談は、自己紹介・近況報告など親しく、楽しく、賑やかに刻を過すことができました。

終了後はグループに分れ、先輩の出品する絵画展を見に行ったり、表町商店街を闊歩するなどして、学生時代に戻り大いに楽しみました。

七月十一日岡山プラザホテルにて開催の平成十六年度工友会総会には、当支部より十一名が出席し、皆様と楽しく世代を超えて交流を深めさせ

て頂きました。

十一月二十日の岡工祭では、例年の如く作品展示コーナーを設けて頂き、十名の方が色々の力作を出品下さいました。また、一隅には茶菓も用意され、お立寄り頂いた皆様との良き語らいの場所となりました。

十一月七、八日に東古松支部の皆生温泉親睦旅行があり、当支部もお誘い頂き五名が参加いたしました。絶好の小春日和に恵まれ、蒜山・大山・日本海・由志園・松江城と見所も

多く、快適な愉快な旅ができました。特に夕食後、車座になつての語りには殊の外楽しく、昭和二十年代のお話に岡工魂の伝統を思わされました。小さな歩みを続ける女性支部ですが、変わらぬご指導とお力添えをお願い申し上げます。



# 母校訪問



島田 昌弘  
(昭和36年機械科卒)

▼久しぶりに母校に集まった旧友たち。創立100周年記念会館の1階に作られた明るく立派な学生食堂で記念撮影。



久しぶりの同窓会が昨年五月二日に開催された。この機会に希望者で母校を訪問しようということになった。

埼玉県に住む私は、前の日に岡山市内のホテルに入る。翌日十時集合となっていたが、気持ちが高ぶる九時二十分に

はホテルをチェックアウト。当時の通学路と同じように岡山駅から奉還町の商店街を通り我が母校へ。

校門から中に入ると整然とした校舎、校庭が目に入って

来た。私たちは昭和三十三年四月に入學。当時は南方校舎だった。そして三十四年二月に現在の上伊福校舎に移転した。机や椅子を自分たちで運んだことも懐かしい。当時は講堂や実習室は旧県庁の建物だった。

皆が集まるまで校内を散歩していると「おはようございます」といきなり元気な声で挨拶された。ボクシング部が練習しており、その明るさと礼儀正しさに感服。こちらも「オ

ッス」と挨拶を返す。

全員揃ったところで事務局の先生が百周年記念館と機械科実習室を主体に案内して下さいました。私たちは卒業して四十三年経っているが母校の歴史と伝統の深さに感動した。記念館の中に、私が新聞部に所属して苦労して編集した移転時の学校新聞が展示されていた。

実習室の見学では、当時と同じ鍛造や鋳造、そして旋盤の実習などが今でも行われて



入口ホールに南方校舎にあった校門の笠石が大切に保管されていた。



機械科昭和二十四年に卒業された井上勇さんが寄贈した絵画『祭・山車が海に入る』が食堂に飾られている。



多くの工友の寄付によって立派な記念会館が出来ていた。早速見学をさせてもらう。



鑄造実習で製作した作品の数々。玄関正面に設置してあった校名プレートの木型が懐かしい。



精密測定実習で使用していたプロックゲージ。



三階の資料室を見学する。岡工の歴史を語る思い出深い品々が並び、たいへん興味深かった。



立派な機械工作実習室。ベルト掛けの旋盤やプレーナを使って実習をした昔が思い出された。



近代的に整備された実習室。特殊機械実習で使用する横フライス盤と立てフライス盤。

ていること。パスやヤットコなどを級友と競い合いながら作ったことを懐かしく思い出す。実習で分かりやすく親切に指導して下さいました先生は、今どうされているのだろうか。また、吉田校長をはじめ教務担当の先生方も、今想うと本当に良い先生ばかりだった。



旋盤に触ると学生時代が思い出された。懐かしい。



鍛造実習で使用する火床と金敷。

お蔭様で社会に貢献できる人間となり、今なお現役で働いている友も多い。当時も放課後の部活動は盛んだったが、五月の連休中というのに、校庭では野球部の練習、弓道場では多くの女生徒も一緒に練習をしていた。私たちの時は校舎が建設途中



懐かしい顔がそろい、昔話に花が咲く。



昔の面影はなく、広々と整備された運動場。部活動の生徒がイキイキと練習に励んでいた。

で校庭の使用が制約され、運動会は県営運動場を借りて行われた。でも応援合戦には熱が入ったものだ。時間はまたたく間に過ぎ、岡工誌「東天」や学校の概要説明書などをいただき、同窓会の会場に向かうため母校をあとにした。



# 岡工三年間の思い出

大原 宏光  
(昭和34年機械科卒)



私は、卒業して四十五年余り過ぎましたが、在学時のことが最近のように思い出されます。

初めて岡工の南方校舎を訪れたのは合格者発表日で、その時の第一印象は、正門の両脇を除いて塀らしいものではなく、校舎は他高校に比べなんと古いかと驚く反面、外見とは違い何かよい伝統が漂う雰囲気があることを感じたことです。

入学後、岡工生としての実感は実習が始まって強まったように思います。当時の教科書には岡工で教わり修得した思い出が沢山あります。教科書は全て貴重な資料として保存していましたが、この度母校の資料博物館の片隅にでもと思い納めさせて頂きました。部活動では柔道部に五月入

部。先輩指導の悲鳴が出そうな苦しい練習に何とか慣れかけた頃、足を怪我して学校は休むし、実質的練習は二学期からと遅れ、また二年生の時の昇段試合では緊張で普段の力が出せず二度も失敗、自分を情けなく思ったものです。



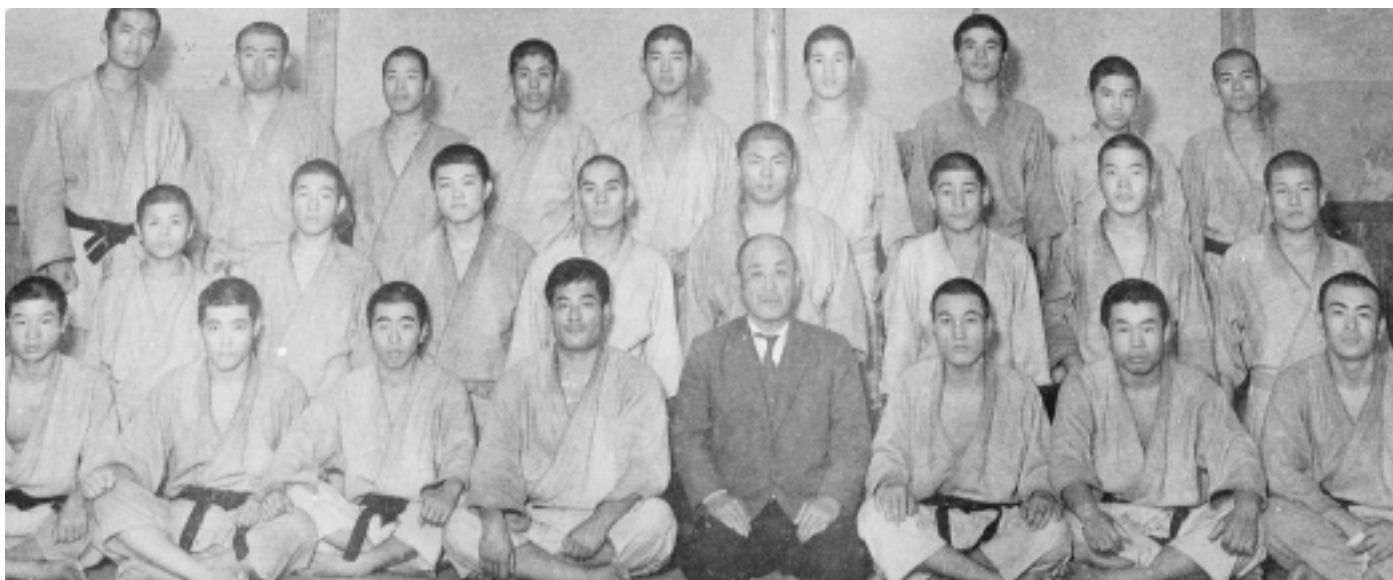
3年生の溶接実習。後列中央筆者。

終わり、中国大会出場の伝統を断たれた残念な思いがあります。就職活動では県内の三井造船を希望しました。その時、担任の先生が学校推薦書の学業成績に君は部活動もしたし実力はこの位だと言って大きな期待を込めて高い点数付で送り出して下さったことです。それに応えるべく採用試験は一回限りのチャンスと考え準備をして臨み、採用の内定を受けることができた時の嬉しさも忘れられないひとつです。

師範の松本先生からは励まし頂き、お陰で挑戦三回目では文句ない成績で黒帯になれた感激は忘れられません。注目の中国大会県予選の大会には待望の選手で出場でき責任は果たせましたが、チームとして健闘叶わずベスト六に

その他工場の実習や見学、伊福町新校舎への移転、親友との東京旅行など貴重な体験もあります。

今日に至る基礎は在学時の先生方並びに先輩のご指導と友人に恵まれたお陰と感謝しております。



筆者、前列右より3人目。

# 生徒とロボコンに関わって

岡山県立岡山工業高等学校 情報技術科  
岡工支部支部長

今井 真人（昭和五八年電子科卒）

私がロボコンと関わるようになって、早いもので十年経つ。

ロボコンに取り組み始めたときは、何から手をつけてよいか、さっぱりわからなかった。それなりに「ものづくり」の経験はあるものの、何をどうやって、どうすればよいか、全くわからなかった。なぜならば、ロボ

ットに関する知識が融合されてなく、私の中でバラバラで存在していたからだ。この知識を集めてロボコンに使えること・ロボコンに使えないことを細かく分類することで、知識が知恵にゆっくり変化していった。

さらに、岡工のロボットがなぜ強くなったかを考えてみる。ひとりで片づけると「生徒が無駄な動きをしないように、授業を進めていること」に尽きる。

まず、やることは決まっているので、何をやりたいか

はなく、何をいつやるかに変化する。これが、とても大事だ。

日本人の特性かもしれないが、何をするか見えたときに生徒は、途端にイキイキと動き始める。例外はない。

例えば、仁科会館のロボコン大会などは歴史があるので、今までどんなロボットがあったのかビデオにもなっているし、動くロボットも目の前にある。今まではロボコンを改良することもできる。目の前に動くモノがあるものから、これからどうするか考えることなく自明なのである。

生徒からこれを知りたい、やりたいという意見が自主的に出るようになり、教師の役割は必要なパーツを揃えることだけになっていく。ときにやり過ぎて失敗することもあるが、やる気のある失敗は、ほとんどの場合許されるだろう。作業をしやすいようにパーツ

をある程度限定したりして、メカが必要なときはゼロから考えなくてもいいようにしていく。動くメカを見たときに、さらにアイデアが出て、ロボットがよりよいものになっていく。

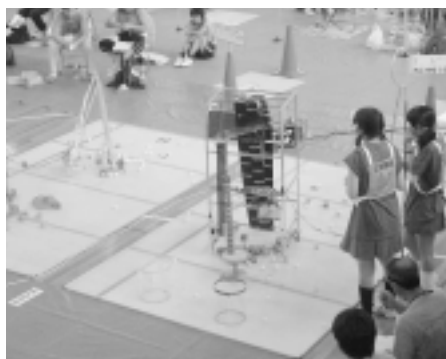
これらの相乗効果により生

徒は、ますますやる気を出し、よりよいものを作り出そうとしていく。それに賞を貰ったり成功体験まで与えることができる。学習効果はさらに高まり、どんどん洗練される。これが岡工の情報技術科のロボット班の現在の姿である。

競技会の様子。創意と工夫による手作りロボットにより、所定の時間内にルールに従い、ピン球と積み木をゴールに運び、その得点を競います。



女子生徒もがんばっています。



高校生の部門で優勝です！。



旧職員の思い出

# 計算機器の変遷

森本 忠  
(元土木科教員)



森本先生(前列左)昭和38年頃

一 はじめに

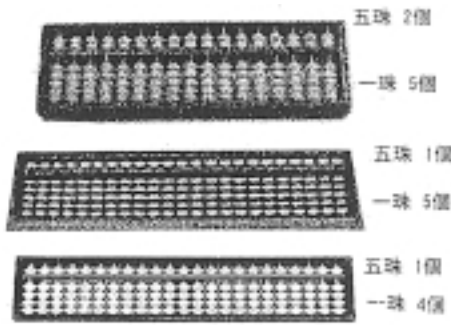
- ・昭和二十年代 卒業後、建設会社に勤務して岐阜・名古屋・北海道の現場を体験。
- ・昭和三十年代 郷里の岡山に帰り、市立工業高校建築科に教員の道を選ぶ。
- ・昭和四十年代 県工の建築科に転勤。
- ・昭和五十年代 土木科に定年まで勤務。

## 二 【算盤・十露盤】

昔は『読み書き算盤』と言い、珠算は小学校の初等数学に大切な部門でした。

(一) 掛算の九九

万葉集に、数字を文字として(当て字)用いています(鹿猪シシ)。



二五は トオ と読む。  
二ゴのトオ  
十六は シシ と読む。  
ジユウロク

九九を仮名に用いた古代人の知恵に驚く。

(二) 割算の九九

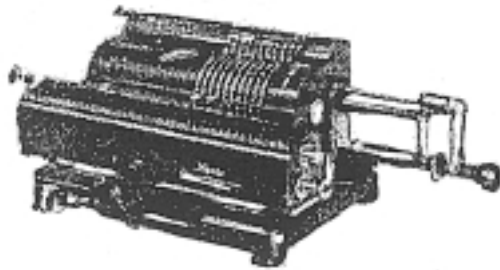
一進二十

イッシンのインジユウ

二 天作五  
ニイチテンサクのゴ  
足算・引算・掛算・割算。古代から貴重な日常生活の必需品でした。

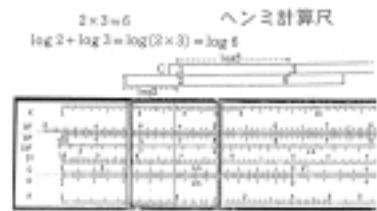
三 【タイガー手廻計算機】  
建築科の職員室にありました。ハンドル・レバーで構成され、「七桁対数表」を用いて数値を指示して、演算用のハンドルを右に、左に回せば答が楽に求められました。

## タイガー手廻計算機



四 【ヘンミ計算尺】  
固定した台尺と、動かせる滑尺と呼ばれる二種類のどちらも同じ尺度が刻まれ、『和差・乗・除・平方・立方・平方根・立方根・三角関数』などの複雑な

計算が簡単な操作で易しく求められる物差し型の機器でした。



手軽に重宝されていた計算尺が、小さな電子式卓上計算器が登場するとアツと言う間に消え去りました。

五 終わりに  
力学や測量の担当で『計算機器』の変遷が岡工時代の思い出です。

以上。

昭和38年頃の授業の様子。



# 岡工生としての誇り

第五十五期 生徒会 会長

大森 香菜江



私は岡工生徒の代表としてこの一年、第五十五期生徒会長を務めました。私の高校生活はたいへん充実した三年間でした。

一年は前年度に勝る年になったと思います。最上級生となった三年は、後輩たちの先頭に立ち、体育祭や岡工祭などの行事に積極的に取り組みました。体育祭では各科がデコレーションパネル、応援合戦と三年生を中心にとなり大いに盛り上げてくれました。デコレーションパネルは各科の特色を最大に出した見ごたえのある素晴らしい出来栄でした。岡工の『ものづくり』精神を改めて実感しました。応援合戦も各科ならではの創意と工夫を見せ、盛大なパフォーマンスがくり広

げられ、感動するほどの学年を越えた団結力が見られました。

岡工祭では各科・クラスの日頃の学習成果を「協力」のテーマの下に発表、展示、模擬店などに発揮し披露しました。広く一般の方々にも見て頂き、『ものづくりの精神』が強く伝わったことだと思います。

私は岡工の精神『ものづくり』という言葉に誇りをもっています。この精神は工業を学ぶ私たちにとっても大切なことだと思います。多くの先輩がこの精神のもと勉学に励まれ、今、社会でご活躍されています。

私たち第五十五期卒業生はこの岡工で学んだことを礎とし、卒業生としての誇りと自信をいつまでも胸に、力強く前進していきます。



ご声援  
ありがとうございました！

## 心より御礼申し上げます

岡工ラグビー部  
生徒・監督・顧問一同

今年も岡工ラグビー部は健在です。一月下旬より始まった新人大会ではすべて危ない試合運びで他校を圧倒し、優勝することができました。

心より感謝いたしております。それに応えるべく選手たちも一生懸命にプレーいたしました。残念ながら結果に終わってしまいました。

また次の全国選抜大会・中国予選会でも島根県、山口県の代表校を破って勝ち進み、決勝戦では広島県の代表校と7-7で引き分け、優勝を分け合いました。抽選の結果惜しくも全国行きを逃しましたが、これからもこの調子でこつこつとがんばって参ります。

しかし、現在その悔しさを胸に新チームが好スタートを切ってがんばっておりますので、今後とも応援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の全国大会(花園)出場に際しましては、工友会の方々及び各支部より物心両面にわたる温かいご支援を賜りました。おかげをもちまして選手たちも思う存分プレーをすることができました。本当にありがとうございました。

また、試合当日も多くの方々が応援に駆けつけてくださり、



# 活躍の先輩



全国高校総合体育大会で6年連続入賞の偉業を果たした自転車競技部。

## 機械科

【機械製図検定全国特別賞】

全国特別表賞 浅野 達哉 関

隆俊 溝手 一(以上3年)

梶田竜弥 澁谷 剛(以上2年)

【全国製図コンクール(機械系)】

最優秀特別賞 浅野 達哉(3年)

【全国スターリングテックノラリ】

第1位岡工ノーマルA2号

第2位岡工ノーマルB4号

## 建築科

【県高校工業教育協会建築系部

会 設計製図競技会】

優秀賞 瀬崎 康平(3年)

佳作 直原 美穂(3年)

【日本大学全国高校建築設計競

技会】 佳作 瀬崎 康平

## 土木科

【岡山県測量競技会】

平板測量 第1位(3年)

水準測量 第1位(2年)

トランシット測量 第3位(1年)

【中国地区測量技術競技会】

平板測量 第1位(3年)

水準測量 第2位(2年)

【高校生ものづくりコンテスト

岡山県大会】

第1位 金澤 宏昭(全国大会

出場)

【情報技術科

【全国高校IT簿記選手権大会

東中国大会】

新人戦 団体2位

個人3・5位

本戦 団体4位、個人4位

【仁科ロボットコンテスト】

高校一般の部 優勝

電気科

【仁科ロボットコンテスト】

独創賞 準優勝

【高校生ものづくりコンテスト】

吉房 慎(3年)

電気工部門 3位 石原 雅

産(2年)

## デザイン科

【岡山県高等学校工業教育協会

シンボルマーク】

最優秀賞 大森葉月(3年)

【ロボットコンテストポスター

デザインコンテスト】

最優秀賞 岡野幸子(3年)

【こんなクロックあったらいい

なデザインコンクール】

銀賞 阿波夏紀(1年)

【愛鳥ポスター】

県教育長賞 松本 直(2年)

【緑化運動ポスター】

県知事賞 河原奈緒子(2年)

【倉敷鷺羽高等学校校章デザイン

最優秀賞(採用) 根木光夫(3年)

【健康倉敷21マスコットキャラ

クター】

最優秀賞 小野真美香(1年)

【全国高等学校インテリアデザ

イン展】

文部科学大臣奨励賞 前島美沙

(3年)

最優秀学校賞

岡山工業高等学校デザイン科

【銃器根絶キャンペーンポスター】

優秀賞 河原奈緒子(2年)

【ハートフルビジネスおかやま

福祉用具アイデアコンテスト】

県知事賞 鎌 千種(1年)

【世界連邦ポスター】

県教育委員会教育長賞 平岡阿

佑美(1年)

## 部活動

### 自転車競技部

6年連続全国大会入賞。他各大  
会において上位入賞多数。

### ラグビー部

全国大会出場。

### カヌー同好会

国民体育大会カヤックシングル

第3位。

### 陸上競技部

国民体育大会・日本選手権大会・  
中国選手権等出場、上位入賞多  
数。県高校駅伝第4位。

■その他全国大会出場の各部

山岳部 ボクシング部 水泳部

少林寺拳法部 写真部 囲碁部



### 2004年版会員名簿

多少在庫がございます。  
お問い合わせは事務局まで。

#### 【注意】

未だに『岡工』『工友会』の名  
称を使って名簿や広告などの  
勧誘をする業者がいます。

文面には「学校、同窓会とは  
関係ないこと」を明記してい  
る場合もあります。工友会とは一  
切関係ありませんのでくれぐ  
れもご注意ください。

またそのようなことがあり  
ましたら工友会事務局までお  
問い合わせ下さい。

## 編集後記

関係者多数の御協力をいた  
だきました、第四十六号の会報を無  
事発行することができました。寄  
稿いただきました皆様方に厚く  
お礼申し上げます。

本年度は施設・設備の整備改修  
が続きました。土木・化学工学科  
棟の建設、中央廊下改修、体育館  
大規模改造工事、旧土木科棟解体  
など。これによりさらに整った学  
習環境が得られ生徒・教職員一同  
喜んでおります。

母校を訪ねていただいた機械  
科の先輩方の記事を紹介いたし  
ました。会員のみなさまも機会が  
ありましたらぜひ母校にお立ち  
よりください。

会報の誌面充実のため、各地の  
話題、会員の動静、同窓会の開催  
報告などがありましたらお知らせ  
下さい。今後ともよろしく御協  
力いただきますようお願いいた  
します。

(会報編集係 f)

ご意見・情報  
お問い合わせは...

〒700-0013  
岡山市伊福町4-3-92  
岡山県立岡山工業高等学校

## 工友会事務局

tel:086-252-5231  
fax:086-252-7130  
http://www.okako.com/